

# スクールホットライン

## 「チーム豊山、感動の夏」

from 豊山中学校

今年度は、七月八・九日に夏の地区大会が行われました。

たくさん保護者・地域の方の応援を背に、生徒達は一人一人の思いを胸に秘め、豊山中学校の代表として戦いました。

特に三年生にとっては最後の大会で、思いが強い大会でした。どの部活動の生徒も、地区内各会場で最後まであきらめずに戦いました。だからこそ、流した汗や涙に、保護者や地域の方など多くの人たちが感動しました。

七月二十二日には、スピーチコンテストが行われ、英語部の部員が日頃の成果を発表しました。

七月二十五日には、吹奏楽コンクールが行われ、自由曲「ザ・リング・オブ・ブロッガー〜太古の聖なる祭壇〜」を、部員が心を込めて演奏しました。

今年の夏の大会の主な結果は以下の通りです。今後とも豊山中学校の部活動の応援をよろしくお願いいたします。

- 個人優勝 小塚 有紗
- 三位 杉原由里音
- 五位 是井 唯那
- 七位 平瀬 陽咲
- 地区大会優勝 愛日大会出場
- 男子卓球団体 地区大会優勝
- 個人二位 四浦 大亮

ソフトテニス団体 地区大会三位

ソフトボール 地区大会三位

バスケットボール 地区大会三位

ソフトテニス団体 小瀬 賢進



## 私の航空史

岡野允俊

### 終戦

昭和二十年に入ると毎日のようにB・二九の空襲があり、ほとんどの都市が焼け野原となった。半年以上にわたって、こんな恐怖のときを過ごし戦争は終わった。

終わってみれば多くの都市が灰燼に帰しており、そんな中で市民はとりあえず住むバラックを建て、風雨を凌ぎ、復興に向かって立ち上がった。こんなバラック小屋での生活であったが、空襲におびえることもなく、安心して眠れるのは至高の幸せであった。

翌二十一年、都市部の多くの日本人は餓死、凍死者が出ないかと案ぜられた冬が来た。三センチほどの霜柱が立つ朝、屋外の水道で上半身裸になって体を拭いているアメリカ兵がいた。白い肌がピンクに染まり、いか

にも肉食民族を見る思いがした。こんなエネルギーシユな奴らと戦った日本兵の意地を改めて知った。当時、食うや食わずの我々日本人は寒さに震えており、外で体を拭く姿など見ただけでも身震いがした。

この年の暮れに親しくしていた家のクリスマスパーティーに招かれた。なんとコンビーフの缶詰や、ステーキなど初めて見るハイカラな食料が並んでいた。その人はキャンプ・ウツドのкоккさんをやっていたので、進駐軍の食料をピンハネしてきたのか、あるいは食べ残しを持ち帰ったのであろう。当時、大根やイモの入った米飯を食べていた時代に、このご馳走は何だとはかりに食べた。食うや食わずの日本兵と、毎日こんなものを食べている奴らと戦ったガダルカナルの戦士の姿が脳裏をかすめた。

あれから七十年余りを経た今日、立派な家が建ち、国民の生活も豊かになった。

特集

町政あんない

情報コーナー

まなびすと

キラリ健康ナビ

わいわいプラザ